

# 先進事例 紹介

～さあ、きっともつと鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり～

## 消防団の防火衣が新しくなりました！

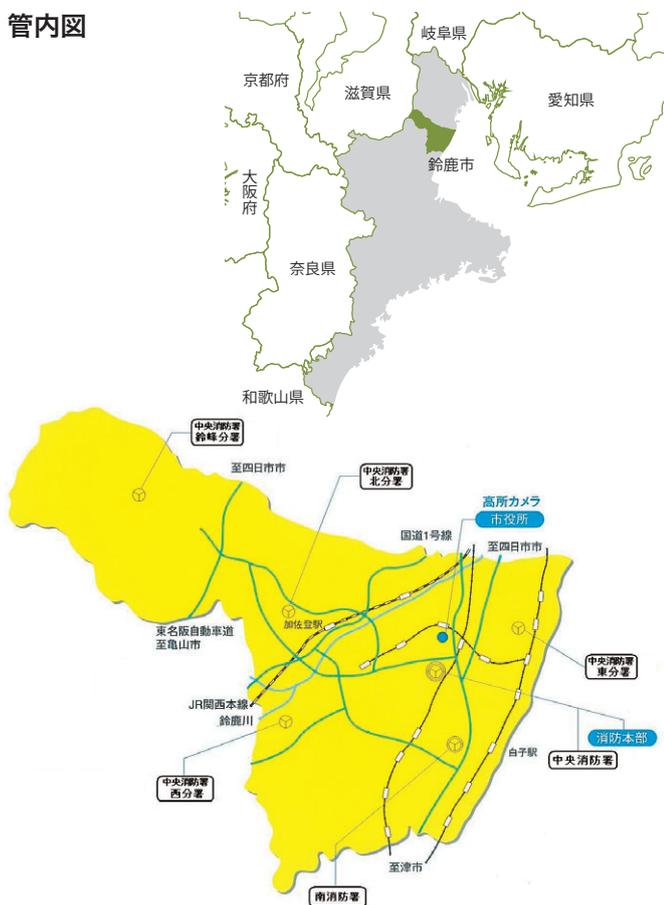
三重県 鈴鹿市消防団

### 1 鈴鹿市の概略

当市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈と恵まれた自然環境の中にあり、伝統ある歴史と文化にも生まれ、産業や経済とも調和のとれた、総面積194.46km<sup>2</sup>に人口約20万人が暮らすまちです。

当市は、昭和17年12月に軍都として2町12カ村が合併し出発しました。近年は、自動車産業を中心に数多くの企業を誘致したことによって、伊勢湾岸地域有数の内陸工業都市として発展し、農業においては、茶や花木をはじめ、水稲等の生産が活発に行われており、農工が共に成長した「緑の工都」となりました。また、国際交流や市民文化の向上に力を入れる等、あらゆる面からの発展を遂げ、F1・8耐等のモータースポーツの聖地として、国際的にも知られています。

#### 管内図



### 2 鈴鹿市消防団

#### (1) 組織体制

当市消防団は、団本部とHiまわり分団の愛称で広報や啓発活動を主とする女性分団を含む24分団で構成され、平成27年7月1日現在448名(条例定数455名)の団員で活動しています。

#### (2) 近年の新たな取り組み

当市が面する伊勢湾は外海ではありませんが、危惧される南海トラフを震源とする大規模な地震が発生した場合の津波襲来予想は、第一波到着が67分(30cm)、最大約6mとされているため、「津波による死傷者“ゼロ”」を目指し、『つかまるわ』と『いのちの鐘』という津波対策プロジェクトを実施しています。

『つかまるわ』は、耐用年数を過ぎた消防用ホースに、使用済み500mlペットボトルを8本入れて作られています。東日本大震災では、避難誘導に携わった方や消防団員等が犠牲になったことを教訓に、津波浸水予測区域内の保育所、幼稚園、小中学校の31施設や消防団等に『つかまるわ』を配備し、津波警報発令時、園児・児童等の安全を担う先生や避難誘導に携わる方々が、施設が目立つ場所にこの『つかまるわ』を掲げ、園児・児童等の避難完了の目印や付近住民への避難促進に活用していきます。

また、『いのちの鐘』は古来に「早鐘(はやがね)」と呼ばれ、緊急時に寺院の鐘を打ち鳴らし危険を知らせていたという情報伝達手段を改めて見直し、伊勢湾沿岸部の津波浸水予測区域にある38寺院の鐘を消



つかまるわ

防団員や消防団OB等が鳴らすことにより、防災スピーカーやサイレンと併せ、津波浸水予測区域外や高台への避難を強く促します。



いのちの鐘

## 3 新装備

平成26年2月公布の「消防団の装備の基準」等の改正を受け、当市では5ヶ年計画で防火衣一式の更新を図ることになりました。新たな配備は、防火服、防火帽及び防火用長靴で（防火手袋は配備済み）、災害現場における消防団員の安全をこれまで以上に確保、さらに、強度及び機能性に優れたものを導入しました。材質等は以下のとおりです。



新装備（正面）



新装備（背面）

### (1) 防火服

素材はアラミド繊維で、コート型上衣とし、左胸部にトランシーバーを収納することのできる雨蓋付きポケットを取り付けました。名入れ等のデザインは、黄色の蛍光素材に反射機能を取り入れ、昼夜を問わず高い視認性を求めました。

### (2) 防火帽

FRP材質で、前面にポリカーボネイトの顔面保護シールドを取り付けました。しころは、防火上衣と同様のアラミド繊維を用い、ロングしころ型とし、消火作業時にはシールドと合わせることで、より顔面の保護を強固にできるようにしました。

### (3) 防火用長靴

銀長靴に上腿部までの膝カバーを付けた一体式であり、爪先部には鋼製の先芯、底部にはステンレス製板を入れることによって、耐踏み付け防止性能と耐踏み抜き防止性能を有し、重量物や鋭利物から足を守ることができるようになりました。



着装イメージ図

## 4 今後の鈴鹿市消防団

平成27年7月14日付けで消防庁が公表した「消防団の組織概要等に関する調査の結果」にあるとおり、消防団員は少子高齢化や被雇用者の増加等に伴い、団員確保が困難になっていることから全国的に減少傾向となっています。当市でも、条例定数に対する充足率は9割以上を維持し続けてはいますが、平均年齢が高齢化しており、地域防災力の低下が懸念されています。このような状況の下、消防団にスポットを当てたイベントを開催し、広報活動のモデルとなるイメージ団員を市民の投票により選出、消防団員募集の広報活動等に活躍していただいております。また、入団資格の要件を緩和し、防災コーディネーター等の有識者に消防団に入団していただき、分団員への研修指導をはじめ、小学校への防災教育や自治会への防災訓練指導等多岐にわたって極め細やかに活躍していただいております。その結果として、分団員や市民の防災意識の向上につながっております。当市ではその他に、消防団と自主防災組織が連絡を密にし、それぞれの意識や技術を向上させ、地域防災力の強化に努めています。